

# 政策特論 (ノンパラメトリック統計学)

## 第2回宿題解答例

2009年1月23日

### Q. 3.1

$S = S_+$  のとき  $s_i^+ = \max\{s_i, 0\}$  とすると、

$$S_+ = \sum_{i=1}^n s_i^+$$

と表すことができ、帰無仮説の下で  $rank$  の符号が正値をとる確率も負値をとる確率も、どちらも  $\frac{1}{2}$  であるから、

$$\begin{aligned} E(S_+) &= E\left(\sum_{i=1}^n s_i^+\right) = \sum_{i=1}^n E(s_i^+) \\ &= \sum_{i=1}^n \left[ \frac{1}{2} |s_i| + \frac{1}{2} \cdot 0 \right] = \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n |s_i| \end{aligned} \quad (1)$$

$$\begin{aligned} \text{Var}(S_+) &= \text{Var}\left(\sum_{i=1}^n s_i^+\right) \quad (\text{i.i.d より}) \\ &= \sum_{i=1}^n \text{Var}(s_i^+) = \sum_{i=1}^n \{E(s_i^{+2}) - [E(s_i^+)]^2\} \\ &= \sum_{i=1}^n \left[ \frac{1}{2} |s_i|^2 - \frac{1}{4} |s_i|^2 \right] = \frac{1}{4} \sum_{i=1}^n |s_i|^2 \end{aligned} \quad (2)$$

$S = S_-$  のとき  $s_i^- = \min\{s_i, 0\}$  とすると、

$$S_- = \sum_{i=1}^n |s_i^-|$$

と表すことができるので

$$\begin{aligned}
 E(S_-) &= E\left(\sum_{i=1}^n |s_i^-|\right) = \sum_{i=1}^n E|s_i^-| \\
 &= \sum_{i=1}^n \left(\frac{1}{2}|s_i| + \frac{1}{2}0\right) = \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n |s_i| \quad (3)
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{Var}(S_-) &= \text{Var}\left(\sum_{i=1}^n |s_i^-|\right) = \sum_{i=1}^n \text{Var}(|s_i^-|) \\
 &= \frac{1}{4} \sum_{i=1}^n s_i^2 \quad (4)
 \end{aligned}$$

(1)(3) より

$$E(S) = \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n |s_i|$$

(2)(4) より

$$\text{Var}(S) = \frac{1}{4} \sum_{i=1}^n s_i^2$$

■

## Q. 3.8

### 1) Wilcoxon Signed rank test

$$\begin{cases} H_0 : \mu = 400 & (\mu \text{ は平均値 ( = 中央値 )}) \\ H_1 : \mu \neq 400 \end{cases}$$

設問のサンプルから帰無仮説のもとでの  $S_+$  を求めると、表 1 のとおり、

$$S_+ = 19$$

となる。

$$P(S_+ \leq 19) \simeq 0.06$$

なので両側検定を行うと有意水準 10% でも帰無仮説を棄却できない。したがってページ数の平均値が 400 という仮説は棄却できない。

## 2) Wilcoxon の 95% 信頼区間

$n = 12$  のときの Wilcoxon の signed rank test 統計量の分布 (テキスト p50, table3.2) より

$$P(S_+ \leq 14) \simeq 0.026$$

なので  $S_+$  の 95% 信頼区間は (14, 64) となる。(78-14=64 であるので)

Walsh average を用いると、この  $S_+$  の信頼区間に相当する  $\mu$  (平均値) の区間は (200.5, 433) になることがわかる (表 2 を見よ)。

## 3) t 分布に基づく 95% 信頼区間

ページ数の標本平均  $\bar{\mu}$  とその標準誤差を求めると、

$$\bar{\mu} \simeq 316.67$$

$$\sqrt{\text{Var}(\bar{\mu})} = \sqrt{\hat{\sigma}^2/12} \simeq 40.56$$

ここで  $\hat{\sigma}^2$  はページ数の分散の推定量である。

自由度 11(=12-1) の t 分布の上側 2.5% 点は 2.201 であるから、ページ数  $\mu$  の 95% 信頼区間は

$$\begin{aligned} \Pr\left(-2.201 \leq \frac{\mu - 316.7}{40.56} \leq 2.201\right) &= \Pr(227.43 \leq \mu \leq 405.97) \\ &= 0.95 \end{aligned}$$

となり、2) で求めた信頼区間より狭いことがわかる。



